



## 中国

# 20 神木-朔県鉄道建設事業 (1)～(4)

A  
B  
C  
D

陝西省神木県-山西省朔県間に電化単線鉄道輸送路線を新設することにより、石炭等の輸送力の増強を図り、もって神府東勝炭田の石炭増産と華北および沿海都市等への石炭供給量の拡大を通じた経済の成長に寄与する。

承諾額/実行額	269億8,500万円/252億5,700万円
借款契約調印	1991年1月～1993年8月
借款契約条件	金利2.5～2.6%、返済30年(うち据置10年)、一般アンタイト
貸付完了	1996年11月～1999年2月
実施機関	神華集团公司



外部評価者 岸野 優子(アイ・シー・ネット(株))  
現地調査 2004年11月

## 評価結果

本事業では、ほぼ計画通りに神木-朔県間の電化単線(神朔線)の建設(軌道、路盤、橋梁、トンネル、駅、変電所、通信・信号等の整備)が行われた。期間は、軌道建設の用地取得手続きに時間を要したため計画を上回ったが、事業費は計画を下回った。

神朔線の石炭輸送量は、2000年の計画値では2,000万トンであったのに対し、02年実績は4,718万トンと当初計画を大幅に上回った。また、神朔線に接続して沿岸の黄カ港までをつなぐ朔黄線が01年末に完成し、さらに、03年には神木北-神池間の複線工事が完成したことから、03年には輸送量が7,102万トンに達した。これは中国における03年の石炭消費量14.2億トンの5%に相当する。

本事業により、中国最大級の神府東勝炭田の生産量は、事業実施前の1995年の553万トンに対し、03年には7,384万

トンと大幅に増加した。また、華北・沿海都市工業地区等への石炭供給を担う主要3積荷港において、石炭搬出量合計に占める神朔線による輸送量の割合は36.1%(03年)に達し、本事業の受益者<sup>※2</sup>は約6,500万人と推定される。

神華集団有限責任公司(国有企業)の技術および体制面は問題なく、財務面は良好である。

※1 秦皇島港、塘沽港、黄カ港

※2 中国(人口約13億人)の03年石炭消費量14.2億トンと本事業の03年石炭輸送量7,102万トンから推定。

## 第三者意見

本事業により、鉄道輸送力増強が図られ、内陸部での石炭生産量の増加、輸送ネットワークの形成や技術力向上等を通じて地域経済の発展に寄与した。

有識者 Mr. Jian Rong (学者)

北京工業大学博士(輸送工学)。現在、北京工業大学教授。専門は交通工学、交通インパクト分析、交通計画。

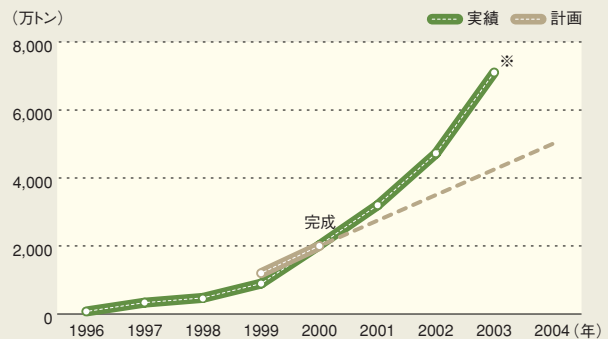
### 神華集団有限責任公司の概要

石炭産業に従事する中国有数の国有企業で、傘下に35の企業を持つ。1995年に設立、資本金は25.8億人民元(約361億円)である。中国最大級の神府東勝炭田(石炭埋蔵量2,236億トン)を保有し、同炭田の総合開発・経営とそれに付随する鉄道、発電所、港湾、輸送等の事業を行っている。



神府東勝炭田

### 神朔線石炭輸送量の推移



出所: 計画値- 当行資料、実績値- 神華集団

※2003年実績は神木北-神池の複線化による輸送量を含む。